

科目名	プレゼминаール1(演習)	科目ナンバー	CL-SM3101-I			
担当者 (実務経験名)	教授 牧 幸浩 特任教授 永利 和則 教授 桐生 直代 講師 松本 美耶					
履修期	1年 前期	卒業単位	必修 1単位			
免許・資格	情報処理士必修					
授業概要	太宰府地域に関する日本文化の講義(フィールドワーク調査)および考察を行う。これまで自分が生活してきた地域との比較を通して、それぞれの地域の特性を理解する。また、学習方法の習得として、図書館やパソコンを利用・活用することで、卒業までの2年間の学修活動の基盤を作る。					
到達目標	知識・理解	図書館や情報機器等の活用や調べ方を理解できるようになる。				
	思考・判断	課題の考察に関して、基礎的な考えや判断ができるようになる。				
	興味・意欲・態度	疑問点や課題を解明することに興味・関心を持ち、自ら調べることができるようになる。				
	技能・表現	個人・グループで調べたことを発表・説明できるようになる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容	時間 (時間/週)		
	1	オリエンテーション(全体会)	講義要項を読んでくる。	0.5		
	2	図書館活用技法(1):図書館活用の基礎を学ぶ	公共図書館や大学図書館を利用し、整理する。	1		
	3	図書館活用技法(2):大学図書館冊子「一冊の本」の原稿作成	おすすめ本の内容を整理する。原稿を作成し、メールで提出する。	1		
	4	太宰府の歴史と文化(1):太宰府政庁跡等見学(学外実習)	太宰府の歴史などを調査し、整理する。見学した内容をまとめる。	1		
	5	太宰府の歴史と文化(2):見学報告会(グループでの実施)	見学した内容を報告書としてまとめる。報告会の内容をまとめる。	1		
	6	図書館活用技法(3):図書館POPの作成術1	効果的なPOP作成方法について調査する。	1		
	7	図書館活用技法(4):図書館POPの作成術2	効果的な作成法をもとにPOPを完成させる。	1		
	8	図書館活用技法(5):ビブリオバトル(グループ発表)	紹介本の内容を整理する。ビブリオバトルでの質問を整理する。	1		
	9	図書館活用技法(6):ビブリオバトル(全体発表)	全体発表の準備をする。ビブリオバトルでの質問等を整理する。	1		
	10	太宰府の歴史と文化(3):「太宰府」講演	太宰府の歴史、施設について調べてくる。	1		
	11	学科特別研修旅行冊子の作成:訪問先の調査	冊子の担当原稿を準備する。原稿の修正などを行い、完成させる。	1		
	12	太宰府の歴史と文化(4):太宰府天満宮の訪問(学外実習)	太宰府天満宮や周辺施設について調べまとめる。	1		
	13	太宰府の歴史と文化(5):全体発表会資料作成	発表資料作成の準備をする。	1.5		
	14	太宰府の歴史と文化(5):全体発表会の実施(ゼミごとに発表)	発表用資料の準備を行う。指摘内容について修正・確認をする。	1.5		
15	前期の総まとめ	前期の感想を準備してくる。	0.5			
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○			40%
	課題					
	実技	○			○	40%
	受講状況・態度				○	20%
その他()						
フィードバックの方法	提出したレポートについて、紙媒体の場合は添削し返却します。電子媒体の場合は、メール、または本学 e-ラーニングサイト(FWJConLine)を用いて、添削後、フィードバックコメントを提示します。					
教科書	特になし。必要があれば資料を配布します。					
参考書	特になし					
アクティブ・ラーニング	自分の考えをまとめ、発表してもらいます。具体的には、大学周辺の史跡等のフィールドワークをもとに、グループワーク・ディスカッションを行い、内容をまとめ発表してもらいます。また、自分の好きな本のPOP作成実習、ビブリオバトルを通じたプレゼンテーションスキルの向上も目指します。					
ICT活用	本学 e-ラーニングサイト(FWJConLine)を用いて、授業資料等の提示、課題の提出及びフィードバック、アンケート等を行う双方向型授業、自主学習支援を行います。					
メッセージ・備考	学科の仲間と対話を重ねながら、学習するコツや知る喜びを感じましょう。					
関連科目	教養科目・文化教養学科専門科目すべて					